

平成27年12月10日

平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果 分析から見てきた成果・課題と今後の取り組みについて

大阪市立東粉浜小学校

校長 羽川 昌廣

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）
理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・本校では、第6学年 51名

平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語ではA問題・B問題共に、大阪市・全国平均を上回り、Aは全国平均より7.5%、Bは10.2%高く、基礎基本の定着と活用力が身につけていることがわかる。算数でも、A問題・B問題共に大阪市・全国平均を上回り、Aは全国平均より11.3%、Bは12.0%高い。理科でも、大阪市・全国平均を上回り、全国平均より8.8%高い。国語と同様に、算数・理科でも基礎基本の定着と活用力が身につけていることがわかる。3教科のそれぞれの領域別でも、大阪市・全国平均を上回っており、また、無答率も4領域で大阪市・全国平均を上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平成23・24年度は校内研究として「読むこと」に重点をおいた指導を進め、平成25・26年度は「言語力」の育成に取り組んだ。その結果、「読むこと」の領域がA問題・B問題ともに8~10%と大きく平均を上回った。「書くこと」の領域では、特にB問題について12.1%と大きく平均を上回った。授業での話し合い活動を充実させるため、自分の意見を書いたり、要旨をまとめて書くという活動を多く取り入れたり、ワークシートの工夫を行ってきた成果だと思う。また、漢字の書き取りなど基本問題を中心に徹底するよう全学年で取り組んだことも結果につながったと思う。今後は「言語力」の育成の充実を図るために、習熟度別授業にも力を入れていきたい。

〔算数〕算数Aでの高得点は、当該学年では3年生の時から習熟度別少人数学習を導入し、個々の児童にあった指導法を導入したことや、ノート指導を丁寧に積み重ねてきたこと等の成果と思われる。また、ひとり一人に丁寧な指導をしてきたことがA問題・B問題ともに、無回答率が大阪市・全国平均を上回る結果につながった。また、過去に出た問題や課題のある領域の問題に慣れるよう指導してきたので得点上位者の増加につながったと思われる。

〔理科〕理科の学力テストで、全国平均より8.8%上回った。理科に関する質問・回答からも、「理科の学習が好き」「理科の勉強は大切であると思う」と答えた児童が90%以上（あてはまる・だいたいあてはまるを含む）であった。自然事象に対する興味・関心をもつ児童が多く、それが知識力につながっているのではないかと思われる。特にエネルギーの分野については全国平均より13.5%高かった。一方、自然にふれる経験が全国平均に比べて少し下回っているため、実験・観察などを中心とした体験的な活動を積極的に取り入れる必要がある。

質問紙調査より

本校の児童は、全国平均に比べ、朝食摂取率・早寝早起き率も高く、家庭において規則正しい生活習慣を身につけることの協力が大きいといえる。携帯電話の所持率・利用率は全国平均より低く、引き続き情報モラルの指導を継続していく。テレビゲームなどの利用時間は「1時間より少ない」という回答が一番多い。テレビやビデオ・DVDの視聴時間も「1時間以上2時間より少ない」が一番多く、全国平均より少ない。どちらも、家庭での抑制が効いている結果であるといえる。「新聞を読んでいますか」には、41.2%が「ほぼ毎日・週に1～3回」と答えている。昨年度からの子ども新聞の継続購読などにより、新聞を身近に読める環境ができつつあると考える。さらに、家庭の学校行事への関心度も高く、児童も学校での出来事について家の人へ話をしている割合が全国平均より高い。家の人と、コミュニケーションをよくとっていることがわかる。

家庭学習については、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」には、66.7%の児童が肯定的な回答で、進んで自主的な学習をしている。しかし、「家で学校の授業の復習をしていますか」には、「全くしていない」と回答した児童が31.4%であった。学校と家庭との連携の中での課題であり、保護者に啓発していきたい。「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」には、多くの児童が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えている。また、「将来の夢や目標を持っていますか」には94.1%の児童が肯定的な回答である。物事を成し遂げた充実感や達成感を味わう経験が大変多く、高い結果が出ている。その成功体験の積み重ねが学ぶ意欲につながり、夢や目標をもって意欲的に取り組む姿勢へとつながっていると考える。また、友だちの前で意見を発表することを得意としたり、話の組み立てを工夫して発表したりする児童が多い。自分の考えをもち、グループで互いに考えを伝え合ったり、聞き合ったりする言語活動を継続指導した成果だと思われる。一方で、「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」には、肯定的な回答が8割を超えるものの、全国平均と比べるとやや低い。自分や友だちのよさをみつけ、認め合える仲間づくりの育成を図っていきたい。

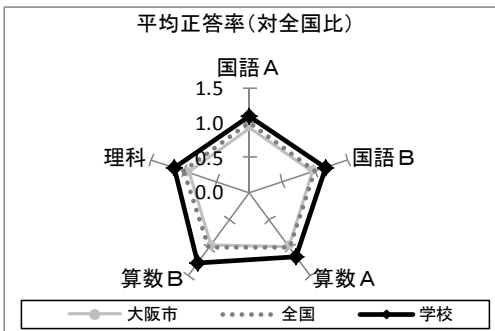
今後の取組

・学習活動の中で、自分の考えを持ち友だちと意見を交流し合う活動に重点をおき、さらに言語力の育成を図る。・国語や算数科で、習熟度別少人数学習を継続していく。・子ども新聞の継続購読、NIE教育（一般新聞の配布）により、本や新聞などの活字を読む習慣の定着を図る。・調べ学習等で、新聞からの情報を整理し活用できるような指導方法を工夫する。・自然にふれる、本物にふれる機会を多くするために、体験的な活動を多く取り入れたり、ゲストティーチャーによる授業などの活用をしていく。

【 全体の概要 】

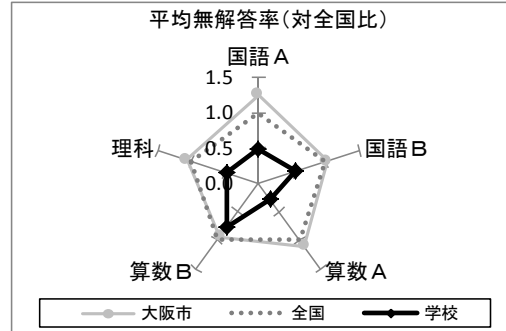
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	77.5	75.6	86.5	57.0	69.6
大阪市	65.7	62.5	72.8	42.8	56.3
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8



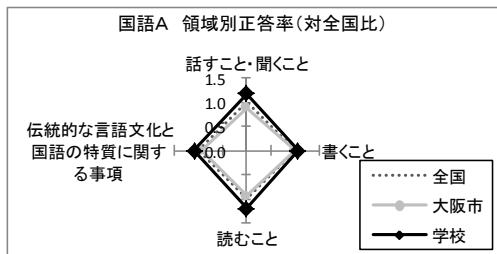
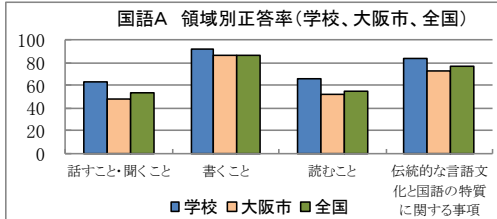
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	1.7	3.3	0.5	7.1	1.5
大阪市	4.5	6.2	2.0	8.5	3.4
全国	3.6	6.1	1.8	9.1	3.2

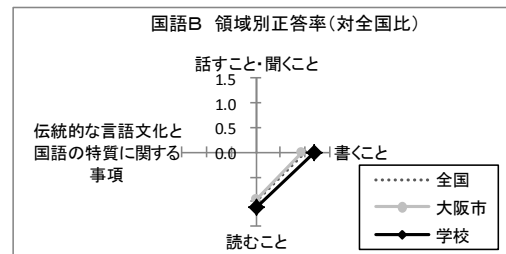
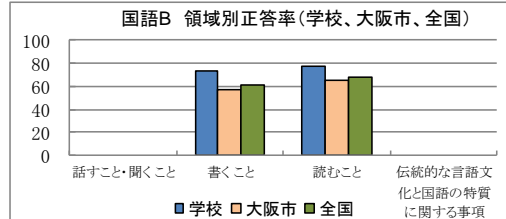


【 国語 】

A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	62.7	47.4	53.0
	書くこと	1	92.2	86.2	86.0
	読むこと	4	66.2	51.3	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	83.7	72.3	77.2



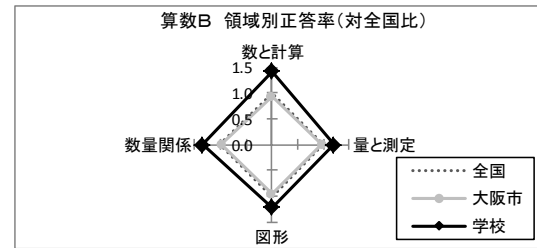
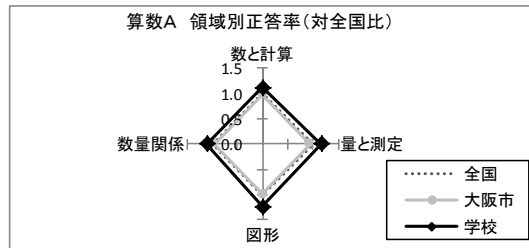
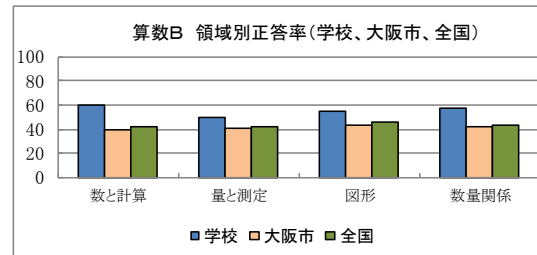
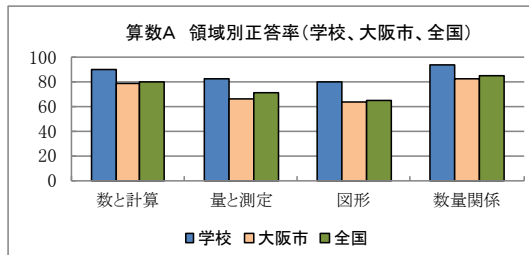
B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	—	—	—	
	書くこと	6	73.2	57.5	61.1
	読むこと	6	76.8	65.6	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	



【 算 数 】

A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の 領域等	数と計算	7	89.9	78.2	80.1
	量と測定	3	83.0	66.6	71.3
	図形	4	79.4	63.4	64.5
	数量関係	2	94.1	81.9	84.9

B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の 領域等	数と計算	4	60.3	39.4	42.4
	量と測定	3	49.7	40.6	41.7
	図形	7	54.9	43.6	45.6
	数量関係	3	58.2	41.6	43.0



【 理 科 】

		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の 領域等	物質	7	61.9	52.1	57.4
	エネルギー	6	79.1	62.4	65.6
	生命	6	70.3	57.8	61.2
	地球	7	65.0	50.8	57.8

